

プリント基板、中国で増産 対松堂精工

プリント基板設計、組み、現地を増産に乗り出し、設も検討していく。

立ての対松堂精工（愛知県豊川市、田中寛孝社長）は、産数量は前期の一・五倍に中国に進出した日系メーカーなる見込み。受注動向を見、一からの受注拡大に対応、極めながら生産ラインの増

設も検討していく。増産するのは香港にある現地法人、対松堂香港有限公司の中国工場（広東省深圳市）。複写機やプリンター向け中心にプリント基板の組み立てを手掛ける。基板上に搭載する電子部品の総量を指す「実装点数」は前期、月平均二千万点だったが、今期は同三千万点に引き上げる。